



便の黄金色は血液の成れの果て

便の中のビリルビンが黄金色ため、便は黄金色を呈します。

ビリルビンは寿命を終えた赤血球が脾臓や肝臓で分解されるときに赤血球の成分であるヘモグロビンが分解されてビリルビンとなり、肝臓に運ばれて胆汁の成分となり、腸管から便として排出されます。つまり、血液の成分が変化したものが黄金色のもとになっています。

